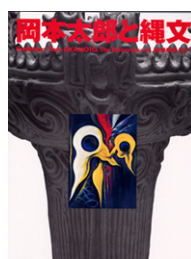


平成 13 年度企画展

岡本太郎と縄文

会 期	2001 年 8 月 11 日～10 月 8 日
開催日数	51 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、NHK プロモーション
後 援	NHK 横浜放送局
企画協力	株式会社ツルモトルーム
観 覧 料	一般 900 円、高・大学生 700 円
入場者数	12,162 人
1 日平均	238 人
図 録	A4 変版、108 p、1600 円(税込)
ポスター	B2、B3
チ ラ シ	A4
出品点数	89 点
巡 回	日本橋三越ギャラリー(2001 年 7 月 24 日～8 月 5 日)、川崎市岡本太郎美術館(2001 年 8 月 11 日～10 月 8 日)、広島市現代美術館(2001 年 11 月 24 日～2002 年 1 月 31 日)、北海道帯広美術館(2002 年 5 月 24 日～7 月 3 日)、鹿児島県立霧島アートの森(2002 年 7 月 10 日～8 月 21 日)、大丸ミュージアム梅田(2002 年 9 月 11 日～9 月 23 日)、松坂屋美術館(2003 年 4 月 2 日～4 月 13 日)
担 当 者	仲野泰生、楠本亜紀



展覧会カタログ

[開催趣旨]

多面的な顔を持つ芸術家、岡本太郎。彼はまた、「縄文の美」の発見者でもあった。縄文への関心が高まる今、古代縄文人が驚異の造形力で土に託した美の呪力と、その美の世界を出土品約 30 点で紹介するとともに、その美の発見者である岡本太郎が魅せられて到達した岡本芸術の真髄を、油彩・立体・写真など約 70 点の作品を通じて紹介する。

[主要関連記事]

- ・ 「『世界性』射程に入れた熱中」 菅原教夫 『夕刊読売新聞』 2001 年 8 月 30 日
- ・ 「Revisiting his ancestor's art」 C. B. LIDDELL 『JAPAN TIMES』 9/26 2001

[関連事業]

縄文土器に挑戦(ワークショップ)

- 会 期 2001 年 8 月 24 日、8 月 25 日
 参 加 数 20 名
 内 容 企画展示室で本物の縄文土器と岡本太郎の作品を鑑賞した後、自分たちの手で土器を制作し、その造形や背後にある縄文人の精神世界を考えてみようとするワークショップ。
 場 所 創作アトリエ
 講 師 村主 武 (陶芸家)
 料 金 材料費 300 円



縄文の美の発見者・岡本太郎(シンポジウム)

- 会 期 2001 年 8 月 19 日
 参 加 数 50 名
 内 容 考古学者の小林達雄氏、パリ時代の太郎に多大な影響を与えたジョルジュ・バタイユの研究者である酒井健氏をパネリストに迎え、それぞれの専門の立場から岡本太郎と縄文との関わりについて語る。
 場 所 ガイダンスホール
 講 師 小林達雄 (國學院大学教授)、酒井健 (法政大学教授)、岡本敏子 (岡本太郎記念館館長)、村田慶之輔(岡本太郎美術館館長)
 料 金 無料(入館料のみ)

[出展作品及び資料リスト]

No.	作家/作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先(岡本太郎美術館蔵の場合は作品番号)
-----	--------	-----	-------	--------	-----------------------

ー岡本太郎ー

1	喫煙者	1951	油彩・キャンバス	73.0×53.5	1000014
2	哄笑	1972	油彩・キャンバス	145.0×113.0	1000066
3	風神	1961	油彩・キャンバス	227.0×162.0	1000033
4	石と樹Ⅱ	1983	油彩・キャンバス	130.0×162.0	1000111
5	アドレッサン	1961	油彩・キャンバス	194.3×142.5	1000032
6	黒い生き物	1961	油彩・キャンバス	228.0×182.0	1000137
7	赤	1961	油彩・キャンバス	142.5×130.7	1000143
8	空間	1934/1954	油彩・キャンバス	114.3×91.0	1000002
9	若い闘争	1962	油彩・キャンバス	182.0×227.0	1000038
10	装える戦士	1962	油彩・キャンバス	227.0×182.0	1000039
11	千手	1965	油彩・キャンバス	227.5×182.5	1000060

平成13年度企画展

12	記念撮影	1975	油彩・キャンバス	194.0×145.8	1O00082
13	顔Ⅲ	1968	油彩・キャンバス	130.8×194.2	1O00121
14	エクセホモ	1963	油彩・キャンバス	227.0×162.0	1O00053
15	愛撫	1964	油彩・キャンバス	227.0×381.0	1O00059
16	マスク	1959	油彩・キャンバス	227.8×182.5	1O00028
17	顔Ⅵ	1970	油彩・キャンバス	130.0×162.0	1O00064
18	天空に我あり	1967	油彩・キャンバス	162.5×227.5	1O00077
19	裂けた顔	1960	油彩・キャンバス	161.5×129.0	1O00029
20	二つの顔	1957	油彩・キャンバス	125.0×232.0	1O00026
21	面	1975	油彩・キャンバス	130.0×151.5	1O00078
22	プロフィール	1975	油彩・キャンバス	162.0×130.0	1O00083
23	流れる夢	1975	油彩・キャンバス	135.0×130.7	1O00084
24	挑み	1980	油彩・キャンバス	182.0×218.0	1O00101
25	顔	1952	陶	100.0×100.0×60.0	2S00087
26	笑い	1952	陶	16.0×13.5×9.5	2S00004
27	渾沌	1962	ブロンズ	167.0×67.0×67.0	2S00012
28	戦士	1970	FRP	200.0×190.0×180.0	2S00042
29	午後の日	1967	ブロンズ	33.5×31.5×30.0	2S00041
30	黒い顔	1968	陶	24.8×22.0×22.0	2S00026
31	樹霊Ⅱ	1971	FRP	55.0×95.0×50.0	2S00037
32	エラン	1976	FRP	152.0×40.0×22.0	2S00046
33	横たわる	1981	陶	22.0×50.0×20.0	2S00080
34	縄文人	1982	FRP	158.0×150.0×120.0	2S00058
35	踊り	1982	陶	42.5×40.0×26.5	2S00059
36	むすめ	1967	陶	42.5×40.0×26.5	2S00079
37	ひらく肖像	1982	陶	50.5×40.0×38.0	2S00082
38	祭り	1985	FRP	120.0×110.0×80.0	2S00064
39	湧きあがる	1989	ブロンズ	55.0×105.0×45.0	2S00071
40	誇り	1962	FRP	203.0×212.0×80.0	2S00013
41	うなづく	1982	陶	30.0×49.0×18.2	2S00081
42	噴火口	1981	陶	30.0×34.2×32.0	2S00083
43	動物	1983	FRP	128.0×166.0×55.0	2S00060
44	雷神	1978	陶	26.5×23.5×22.0	2E00006
45	太陽の塔	1970	FRP	145.0×128.0×50.0	2S00035
46	月の顔	1981	FRP	100.0×90.0×110.0	2S00051

平成13年度企画展

47	太陽(金色)	1985	FRP	130.0×80.0×85.0	2S00065
48	犬の植木鉢	1963	陶	60.0×80.0×20.0	2S00015

縄文出土品

No.	名称	出土地	時代	高さ (cm)	所蔵
49	把手状装飾付深鉢	長野県茅野市下の原遺跡	縄文中期	31.5	尖石縄文考古館
50	把手状装飾付波口口縁深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	42.5	尖石縄文考古館
51	深鉢	長野県茅野市中ッ原遺跡	縄文中期	50.5	尖石縄文考古館
52	深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	27	尖石縄文考古館
53	深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	21	尖石縄文考古館
54	深鉢	長野県茅野市棚畑遺跡	縄文中期	36.5	尖石縄文考古館
55	釣手土器(レプリカ)	長野県諏訪市穴場遺跡	縄文中期	21	諏訪市博物館
56	深鉢	長野県諏訪市荒神山遺跡	縄文中期	54	長野県教育委員会
57	顔面付有孔罎付土器	長野県諏訪市大ダッショ遺跡	縄文中期	27	諏訪市博物館
58	中空土器(レプリカ)	山梨県大泉村金生遺跡	縄文晩期	23.2	山梨県立考古博物館
59	把手装飾付深鉢	山梨県中道町上野原遺跡	縄文中期	46.7	山梨県立考古博物館
60	深鉢	山梨県大泉村甲ッ原遺跡	縄文中期	83	山梨県立考古博物館
61	土偶頭部(レプリカ)	山梨県一の沢遺跡	縄文中期	14.1	た
62	深鉢	山梨県一宮町釈迦堂遺跡	縄文中期	52.3	釈迦堂遺跡博物館
63	把手装飾付深鉢(水煙文土器)	山梨県一宮町釈迦堂遺跡	縄文中期	38	釈迦堂遺跡博物館
64	水煙文把手深鉢	山梨県一宮町釈迦堂遺跡	縄文中期	86.6	釈迦堂遺跡博物館
65	深鉢型土器	山梨県一宮町釈迦堂遺跡土	縄文中期	41.5	釈迦堂遺跡博物館
66	火焰型土器(レプリカ)	新潟県津南町堂平遺跡	縄文中期	40	津南町教育委員会
67	火焰型土器	新潟県津南町道尻手遺跡	縄文中期	30.5	津南町教育委員会
68	火焰型土器	新潟県三島町千石原遺跡	縄文中期	38.5	長岡市立科学博物館
69	顔面把手	新潟県長岡市山下町遺跡	縄文中期	21.1	長岡市立科学博物館
70	火焰型土器(国宝/レプリカ)	新潟県十日町市笹山遺跡	縄文中期	46.5	十日町市博物館
71	深鉢(火焰土器)	新潟県十日町市野首遺跡	縄文中期	33	十日町市博物館
72	土偶	青森県鶴田町船沢遺跡	縄文中期	10.8	青森県立郷土館 風韻堂コレクション
73	土偶	青森県三内丸山遺跡	縄文中期	7.3	青森県立郷土館 風韻堂コレクション
74	土偶	青森県八戸市是川遺跡	縄文晩期	4.7	青森県立郷土館 風韻堂コレクション
75	土偶	不明	縄文後期	10.9	青森県立郷土館 風韻堂コレクション
76	土版	青森県宮田遺跡	縄文晩期	5.9	青森県立郷土館 風韻堂コレクション
77	顔面把手深鉢	八戸市石手洗遺跡	縄文中期	47	八戸市博物館

平成13年度企画展

78	深鉢型土器	八戸市是川遺跡	縄文中期	21	清水寺
79	蹲踞土偶(レプリカ)	青森県大畑町二枚橋(2)遺跡	縄文晩期	9.2	大畑町教育委員会
80	遮光器土偶(レプリカ)	青森県大畑町二枚橋(3)遺跡	縄文晩期	25.2	大畑町教育委員会
81	板状土偶	青森県大畑町二枚橋(4)遺跡	縄文晩期	14.7	大畑町教育委員会
82	土偶	青森県大畑町二枚橋(5)遺跡	縄文晩期	8.7	大畑町教育委員会
83	中空土偶	青森県大畑町二枚橋(6)遺跡	縄文晩期	5.7	大畑町教育委員会
84	中空土偶	青森県大畑町二枚橋(7)遺跡	縄文晩期	5.1	大畑町教育委員会
85	中空土偶	青森県大畑町二枚橋(8)遺跡	縄文晩期	9.7	大畑町教育委員会
86	土面	青森県大畑町二枚橋(9)遺跡	縄文晩期	9.25	大畑町教育委員会
87	ハート型の顔を持つ土偶(大型レプリカ)		縄文後期	95	猪風来(制作)
88	把手状装飾付深鉢(レプリカ)	富山県氷見市朝日貝塚遺跡	縄文中期	48	小島俊彰(制作)
89	火焰型土器(大型レプリカ)		縄文中期	100	小島俊彰(制作)